

(1) 市民の状況

世帯当たり人員の減少が示すように(図1)核家族化が進んでおり、世代間の交流の機会が減少しています。また、特異な人口ピラミッド(図4)の形が示すように、学生や若い世帯が多いことや、持ち家率が低いこと(図5)、加えて住民の転入・転出が多いこともあり(図6)、定住化に至っていません。そのため、古くから野々市に住んでいる人たちと、新しい住民や学生との世代間の出会いが少なく、人のつながりが弱い状況にあります。

これらのことは、まつりなどの地域行事への参加者や市民活動の担い手の減少につながる要因とも言われ、地域のつながりの維持や形成が難しくなっています。

図4. 人口ピラミッド

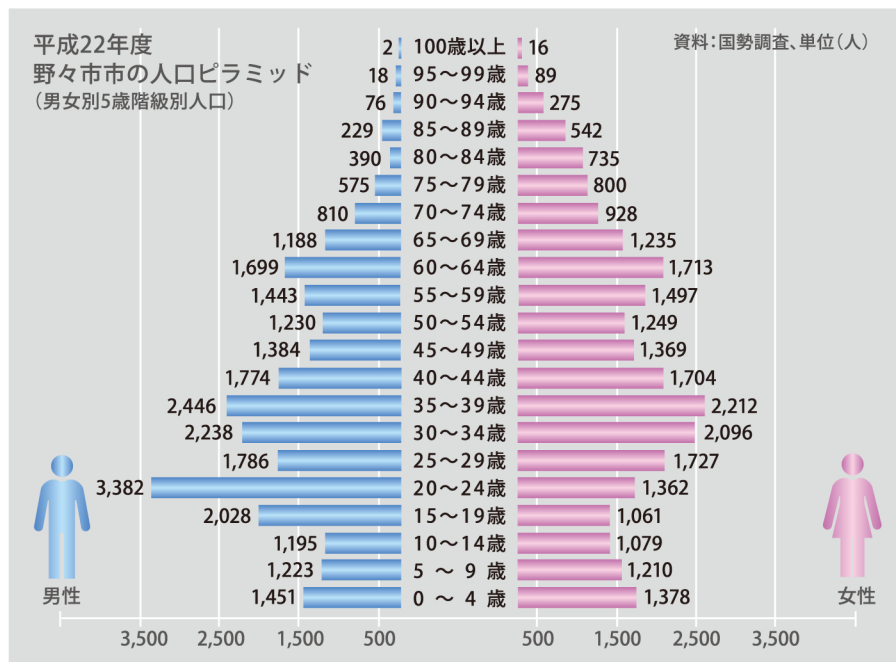
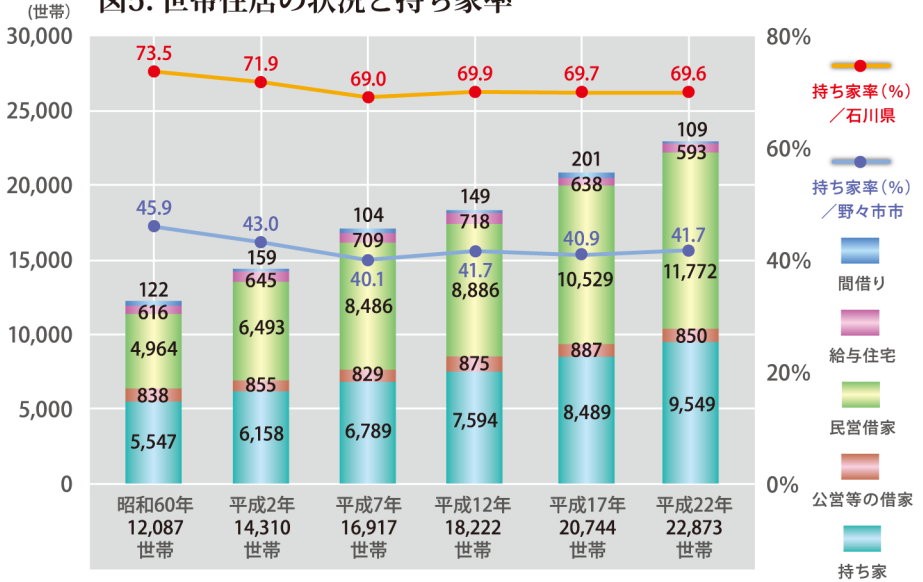


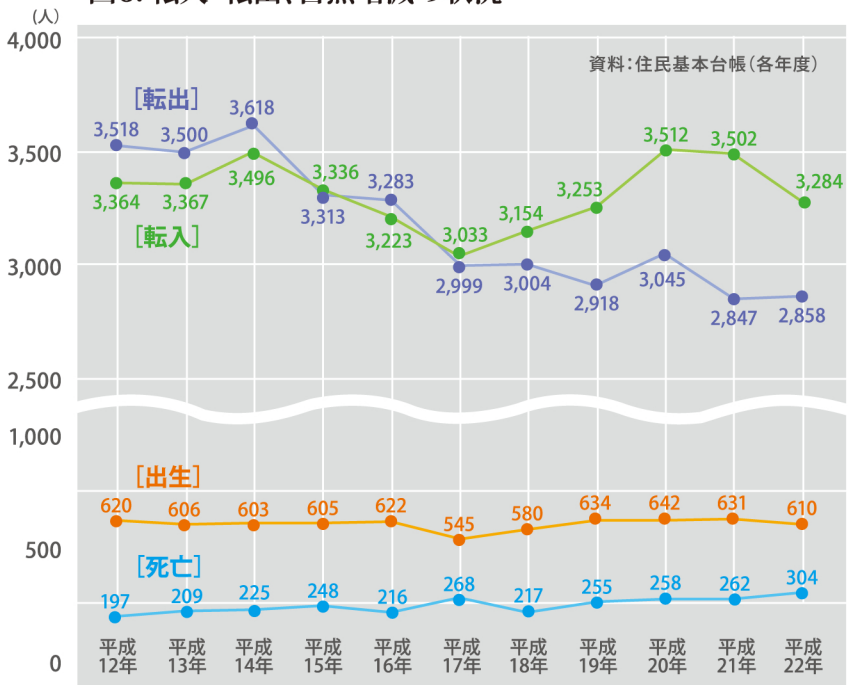
図5. 世帯住居の状況と持ち家率



資料：国勢調査（各年10月1日現在）

※住宅に住む一般の世帯数であり病院、社会施設、学生寮、寄宿舎を含んでいない

図6. 転入・転出、自然増減の状況



資料：住民基本台帳（各年度）

(2) 組織活動の状況

昭和30年代に点在していた28の集落は、そこを中心として広がって現在は95の町になり、54の町内会が組織されています。町内会では、古くからの歴史や文化、伝統を引き継ぎ、新しい集いを興しながら、環境美化や防犯、防災活動などの共助による地縁活動が行われています。

また、市内各地では、児童の通学を見守る活動「見守り隊」や、企業や団体が街路の清掃や除雪などを自主的に行う「アダプトプログラム」、市民グループによる市内案内などのボランティア活動が活発に行われています。

「いしかわのNPO・ボランティア交流名簿2013」では、野々市市に拠点を置くボランティア団体は10団体、NPO法人(特定非営利活動法人)は0団体となっています。人口1万人当たりで見ると1.81団体と県内で極めて低い状況になっていますが、市で把握しているボランティア団体は37団体、NPO法人は10団体です(表2)。

これらのことから、組織化せずに活動している市民団体が多くいる可能性や、近隣市町の市民団体が野々市市内でも活動している可能性が高いことがわかります。市民協働を進める上では、これらの市民や市民団体の状況を把握し、自立支援や相互の情報提供を行うことが必要です。

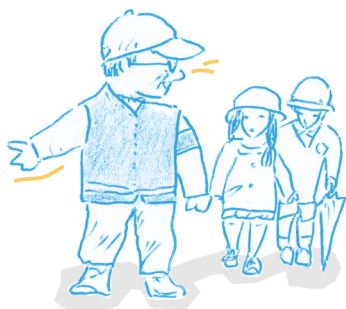


表2. 石川県内のNPO・ボランティア等活動団体 登録数一覧

市町名	人口 (人)	NPO・ボランティア 交流名簿登録団体数			1万人 当たり 団体数	情報検索 による NPO 法人	市調査 ボランティア 等 団体数
		計	ボランティア 等	NPO 法人			
金沢市	463,772	233	173	60	5.02	181	
七尾市	55,582	17	13	4	3.06	16	
小松市	107,190	45	40	5	4.20	12	
輪島市	28,028	23	21	2	8.21	11	
珠洲市	15,134	14	13	1	9.25	9	
加賀市	69,214	23	13	10	3.32	24	
羽咋市	22,324	7	6	1	3.14	7	
かほく市	34,300	11	6	5	3.21	9	
白山市	109,411	42	30	12	3.84	38	
能美市	48,955	34	29	5	6.95	10	
野々市市	55,147	10	10	0	1.81	10	37
川北町	6,307	2	1	1	3.17	2	
津幡町	36,893	3	2	1	0.81	6	
内灘町	27,053	14	12	2	5.18	5	
志賀町	21,035	10	7	3	4.75	3	
宝達志水町	13,503	9	7	2	6.67	2	
中能登町	18,021	7	7	0	3.88	0	
穴水町	9,021	12	12	0	13.30	6	
能登町	18,125	14	13	1	7.72	4	
合計	1,159,015	530	415	115	4.57	355	

人口:石川県統計データ 平成25年10月1日推計

NPO・ボランティア活動団体:『いしかわのNPO・ボランティア交流名簿2013』

NPO法人:全国特定非営利活動法人情報の検索(平成26年1月現在)